

石倉小三郎 いしかわ せいざう 西洋音樂史學・ドイツ文學者。明治十四年八月十五日東京生れ（一八八一）。明治二十七年東京帝國大學文藝科大學獨文學校卒。東京音樂學校、第四・第八・第七高等學校各教授、次で高知・大阪高等學校各校長、大阪理工科大學豫科長兼學長、大阪市立大學講師。この間一度歐洲に留。號後凋、後凋す。

譯著書に、グルック作「歌劇オルフオイス」(歌劇研究會「乙骨」二部・吉田豊吉・近藤逸五郎共譯、明治二十六年七月二十一日東京文館)、「西洋音樂史」(明治二十八年十一月一日博文館「帝國百科全書」)、「コゲーテと音樂」(昭和二十二年七月十日堀書店「教養叢書」)、「コニアウスト解説」全二冊(第一部・昭和二十一年十一月二十日、第二部

・二十二年九月二十日堀書店「教養叢書」。うち全一冊「コニアウスト解説」ゲーテの到達點はなんごありたのか(二十二年五月十五日厚文社、再刊「コニアウスト解説」(「コニアウスト解説第一部」)二十八年二月十日厚文社)、「歌劇カルメン解説」(昭和二十二年八月二十日堀書店)、「コゲーテ詩選」(譯、昭和二十四年十一月十日堀書店)、「音樂學概説」(昭和二十九年二月五日音樂之友社「音樂文庫」)等。